

ウインドウトリートメントとは？

ウインドウトリートメントとは、カーテンをはじめ、ロールスクリーンなど色々な窓を掛ける関連商品の事です。素材・機種・デザインと様々ですが、ソフトとハードのトリートメントに分けると選び方も分かりやすくなります。

ソフトでは、カーテン+バランス(上飾り)とかローマンシェードなどファブリック(布)使いの物で、デザイン・組み合わせが自由にアレンジでき、インテリアに柔らかさや美しさ楽しさなど表現できるグループです。

ハードタイプの物では、バーチカル(縦型ブラインド)やロールスクリーン等機能性を重視してかっちりした収まり・モダン・シャープ男性的という印象があります。最近では、ハードな物にファブリックあしらいで柔らかさを演出する手法も流行っています。

素材では、最近エコにちなんで夏は遮熱効果のあるもの、冬は保温効果のあるものと季節に適した物とか、防犯を考慮して外から見えないミラーカーテンとか、灯りが外に漏れない遮光カーテンとか機能面を満たす素材もたくさん出ています。インテリアコーディネートでのウインドウトリートメントでは床・壁・天井・照明・家具・小物までトータル的に考慮しながら生地質感・テクスチャー・素材・機能面・デザイン・価格といろいろな角度からセレクトをしています。

カーテンと同素材で小物もご提案



出窓部分にフラワーベースを下に敷いたライナーはカーテンと同素材。トリミングも同素材のリボンで統一感を出しています。フラワー・アレンジは、黄色をアクセントに加え上品に、猫のオブジェで遊び心を加えました。テーブルの上のフラワーと、チェンジ可能にしてあります



チェストにも出窓と同じライナーで全体を統一させ、こちらには横長の絵を飾りました。全体に横に広がりを持たせた空間のアクセントとして、こちらのフラワーはシャープに高さのある物を。カーテンと同素材でクッションも作ってみました

1

実例から窓周りデザインの流れを紹介

間接照明×カーテンボックス×ドレープカーテンで魅せる



完成

ご提案プラン



完成

家具とトーンを合わせ
落ち着いた雰囲気に
コーニス照明で
空間の奥行きを演出

完成が上の写真です。下縁取りを加えてアクセントにしたフラットバランス(上飾り)にカーテンがすつきりと收まるよう、ドレープカーテンではなく、プレーンシェードに。また、シアーカーテンは縁取り付のバルーンシェードで空間を柔らかくデザインしました。間接照明は壁を明くるコーニス照明で空間の奥行きを演出しています。

お客様は毎朝、このお部屋に入るところが一番の楽しみと言っています。小物なども上の写真のようにご提案。このように少しだけ仕上がりにこだわると、こんなに贅沢な空間が完成します。窓周りも、照明も後から簡単に交換ができるのです。だから、図面の段階できちんと計画したいものですね。毎日必ず目に飛び込んでくる自分の住まいの窓周り。窓周りから暮らしも変わります。貴方らしい空間、是非こだわって作り上げてください。

上のご提案プランは、U様邸のリビングダイニングルームです。お客様のご希望は、素材感のあるシンプルな窓周りと間接照明を楽しみたいとのことでした。
カーテンのみではなく家具、照明もトータルでご提案しましたがポイントは、ナチュラルで質感があり、ずっと愛用できる上質の家具に合わせ、ドレープカーテンの上にフラットバランス(上飾り)を加え、その上に間接照明を設置しました。素材は、ザックリとしたテクスチャーで、お手入れの楽なポリエステルをセレクト。コストも押さえることができます。シアーカーテンは、ブリーツタイプとシェードタイプの2案をご提案。

素材感のある
シンブルな窓周りと
間接照明を楽しみたい

ご要望